

# 木曾三川公園 紙飛行機の会

[第29便(5月10日~13日)]2名(男性2名)

[第30便(6月28日~7月1日)]2名(男性2名)

活動内容：紙飛行機教室

2便連続で参加いただき、個人ボランティアが補助に入り、学校や公共施設にて各便3ヶ所ずつ活動しました。集まった子どもたちの歓声と共に空に上っていく色とりどりの紙ヒコーキはキラキラした瞳に浮かぶ様々な思いを乗せて飛んでいくようでした。また、お子さまと同行された保護者の皆さんが童心に帰って楽しんでいただけたことも大変大きい収穫でした。

一枚の紙からワーツ、ウォーと歓声が上がリ、変化、変身し癒される紙ヒコーキは年令に関係無く誰でも何処でも楽しめます。紙ヒコーキでみえボラパックⅡに参加させて頂き、紙ヒコーキが取り持つ縁で色々の方々とお会い出来、又、会話も弾み、気分が和み、一度は皆経験された事が有る紙ヒコーキ。実に奥深い(嵌まれば嵌る程)楽しい遊びです。気が付けばもう十年以上も続け、紙ヒコーキ他、ボランティア活動を第二の人生。大いに楽しんで居ます。



代表  
矢野 敏夫さん



# 三重県人形劇協会

[第29便(5月10日~13日)]2名(女性5名)

[第31便(7月12日~15日)]4名(男性4名)

活動内容：人形劇上演／パネルシアター／腹話術／ギター演奏／手品

三重県人形劇協会から、第29便では「おたまじゃくし」、第31便では「ひょうきんどんぶり」+「はたいも」が参加し、公共施設・福祉施設等で各3ヶ所ずつで活動しました。様々な催しに各会場でお子さまからご年配の方まで楽しい時間を過ごしていただきました。3団体それぞれの特色があり、会場や参加者に合わせたプログラムで終始笑顔が絶えず、終了が名残り惜しいほどでした。

上演場所はあるの？見に来てくれる人はいるの？事務局や現地スタッフの方がすべて準備をして下さっていたため、心配はありませんでした。元気な男の子3人組との会話で「海はきれいな津波があるから。」と言われたことが印象的でしたが、劇が始まると楽しそうに最後まで見てくれました。年配の方もお越しいただきゲームにも参加してくれました。普段自分達が行っている事でボラパックに参加できて嬉しかったです。ありがとうございました。



おたまじゃくし  
今村 和代さん



# N P O 法人 みえ防災市民会議

[第25便(2月22日~25日)]9名(男性6名/女性3名)

活動内容：新聞コサージュ／ガンブラ交流

みえ災害ボランティア支援センターの幹事団体の一つであるみえ防災市民会議。新聞コサージュづくりと、初の試みであるガンブラ交流の活動を行ないました。

幹事団体の一員として支援先の現状を自分の目で確かめることなどを目的に、積雪期の山田町を訪れました。外海に面する小谷鳥地区の津波被害の大きさには驚きましたが、仮設住宅や中央公民館での活動、街を行きかう人との何気ない会話などを通して、山田町の方々の芯の強さと優しさに触れる機会となりました。(西川 泰弘さん)



# N P O 法人 植える美 i n g

[第 24 便 (2 月 8 日 ~ 11 日)]

18 名 (男性 6 名 / 女性 12 名)

活動内容: エアーフレッシュナー制作体験 / ハンドマッサージ

2~3 グループに分かれ、仮設住宅談話室・集会所、公共施設等で活動しました。ボラパックⅡ活動当初よりハンドマッサージ活動にて使用していた相可高校生と万協製薬が共同開発したハンドクリームを携えての活動となりました。高校生とのふれあいに特にご高齢の方々から有り難い声をいただき、笑顔の絶えない楽しい空間となりました。また、エアーフレッシュナーでは、お好みの香りを持ち帰っていただくことができ、参加された方々のリフレッシュした表情がたくさん見られました。

私達、相可高校の生徒が主体となって運営する NPO 法人は「たくさんの人に幸せを」を合言葉に活動をしており、東北の方々を元気付けようとボランティアに参加しました。

現地を見ると今ある日常がどれだけ幸せかと感じました。初めてみる光景に驚き、今、当たり前前に生活している環境が急になくなったら…と考えるだけでゾッとします。それでも元気で明るくやさしい山田町の皆さんに、逆に私たちが元気づけられました。今ある環境を大切にこれからも東北を元気づけていきたいです。



峯川 咲希さん



# 三重短期大学

[第 31 便 (7 月 12 日 ~ 15 日)]

15 名 (男性 4 名 / 女性 11 名)

※ボラパックⅡ第 17 便で参加

活動内容: 映画上映会 / ぼんぼんマスコット

ぼんぼんマスコット 2 グループ・映画鑑賞会 1 グループに分かれ、仮設住宅談話室・集会所にて計 9 ヶ所で活動しました。ぼんぼんマスコットでは、みえボラプログラムの案を基に学生たちによる様々なアイデアで可愛いマスコットがたくさん作成され、山田町のお母ちゃんたちの人気の的となりました。

映画鑑賞会では地域で人気の高い作品を選んで準備をし、集まっていたいただいた皆さんとゆったりとした時間を過ごすことができました。

私は、現地で活動したい想いで大学のゼミを選び、そのゼミの一環でボラパックに参加しました。実際に被災されたお話を伺った時は言葉になりませんでした。みんなで立ち上がろうという想いがひしひしと伝わってきて、非常に感激したと同時に、自分を見つめ直す機会となりました。たくさんの方から「ありがとう」を受け、涙が出そうなくらい嬉しく、また言葉の大切さを学びました。本当に行けて良かったと心から思います。これからも人との出会いを大切に、今できることを精一杯行きたいです。



桑原 菜穂さん



# 松 阪 市 立 校 東 部 中 学 校

[第 34 便 (8 月 28 日 ~ 31 日)] 17 名 (男性 11 名 / 女性 6 名)

活動内容: ぼんぼんマスコット / 伊勢型紙ランプづくり

3 グループに分かれ、仮設住宅談話室・集会所にて計 9 ヶ所で活動しました。可愛い中学生の訪問に、参加いただいた皆さんの頬が緩み、温かくお迎えいただきました。細かい作業の多い伊勢型紙も集中して作成いただき、綺麗な作品が並びました。

自分で動いて、見て、聞いて、感じれば「何をすべきか」はわかってくる。そして、現地を訪ねて支援を続けることを通して学び、今後の地元の減災に備えていきたい。一人でも二人でも生き残れる人を増やすことが、被災された人々に報いることだと思う。

(乾 秀樹先生)

